

七ころび 八起き

第17号
平成27年
夏号



医療法人達磨会 東加古川病院

Higashi Kakogawa Hospital

～未来地域に根ざした医療～

理 念

- 1) 精神医療に携わることにより自覚と誇りを持ち、全力を尽くす。
- 2) 患者様、ご家族を含めた地域の人々の満足と信頼が得られるような病院づくりを目指す。
- 3) 地域精神医療に貢献するために、精神保健活動、啓蒙活動、対外活動を積極的に行う。
- 4) 安全な医療と安心できる環境を提供するために継続的な改善を重ねる。
- 5) 患者様の権利を尊重する。
- 6) 安定した経営基盤を維持する。

作 品 紹 介



デイケア参加者の
手芸作品

上：コースター
下中：人形
ボンボン手芸
下左右：ティッシュケース



「理事長兼院長就任から数カ月がたって」

理事長就任の挨拶では、「先代の遺志を受け継いで、東加古川病院の拡張・発展につとめたい」と述べたのですが、現在の時代の流れは、精神科病院の在り方について「これでよいのか?! これではだめだろう」といった鋭い指摘をつきつけてきております。

我々としては、東加古川病院における精神科治療が間違っていたなどとはつゆ思わないのですが、さりとて、現在の病院方針を軸として拡張・発展していけばよいというイージーな発想で現在の難関を乗り切っていけるのかという疑問も感じております。

現代の精神科病院の治療では、一刻も早い社会復帰を第一の目標とし、薬物を中心とした治療をおこないつつ、病的状態によって損なわれた自我の修復を、生活療法・作業療法・心理療法などでおこなってゆく、第二は、訪問看護・デイケアなどで退院後のサポートを行い、社会復帰を目指してゆくことが肝心なところかと思われまふ。更にこれを漠然と行ってゆくのではなく、クリニカルパスなど一つのしっかりした流れを確立することも大切なことだと考えまふ。チームワークを整えて、力を合せて頑張っていまふまふ。



理事長・院長 森 隆志



平成27年度 東加古川病院 夏祭り*盆踊り*開催!



大型台風が近づいていましたが、平成27年8月27日、快晴のもと無事『夏祭り』を開催することができました。グラウンドには、やぐらが建ち、模擬店のやきそばやからあげ等を外で食べる…祭りの雰囲気に患者様の笑顔がたくさん見られました。OT活動にて、2か月ほど前から練習を行い、その努力の成果を発揮すべく、やぐらの周りではたくさんの方が盆踊りに参加されました。そして、今年の大目玉は……加古川で活躍されている演歌歌手・晴香うららさんによる歌謡ショー!!プロの歌手の歌声が聴けるということで、患者様も興味津津でした。都はるみさんや美空ひばりさん等、誰もが知る名曲を歌っていただき、とても楽しく素晴らしい時間となりました。そして最後には、晴香うららさんの歌声に合わせて、患者様も職員も一体となり盆踊りを踊りました。

プロの歌手をお呼びするのは初の試みでしたが、患者様からはよかったとたくさん声を頂くことができました。来年もまた、笑顔あふれる夏祭りができるよう企画したいと思います。



やぐら&太鼓を囲んで
“盆踊り”♪



大盛況!!
“晴香うらら☆歌謡ショー”♪



デイケア活動報告

日頃はデイケアの活動にご協力をいただきありがとうございます。今回は、4月からの新しいプログラム（園芸・新聞クラブ・音楽クラブ）への取り組みについてご紹介いたします。メンバーさんと一緒に考え、意見を出し合って取り組んでいます。今後も「一日を有意義に楽しく!」を目標に活動していきたいと思ひます。（デイケアスタッフ同）



園芸



生活訓練センター前の花壇の手入れをデイケアのメンバーさんと一緒にしています。毎日の水やりや草引き、花や野菜の手入れ、暑い中大変ですが花が咲いたときの喜びは格別のものです。スイカがたくさん収穫できました。みんなで味見、甘くておいしかったです♪



新聞部 (ほのぼの通信)

H27年度より毎月ほのぼの通信を発刊する事になりました。まだまだ始めたばかりなので、一生懸命記事の内容を考えたり、パソコンで打ち込みをしています。デイケアプログラムを取材したり、先生へのインタビューなどもしています。



音楽クラブ

7月より開始。週1回クラブ活動の時間に練習しています。メンバーさん⇒7名、スタッフ⇒2名
楽器⇒リコーダー・電子オルガン・フォークギター



Asahi 施設見学



アサヒ飲料に工場見学へ行ってきました。工場の中はきれいで見やすく、ガイドさんの説明もとても分かり易かったです。お土産にジュース2本頂いて楽しい1日でした。



B B Q 大会 (バーベキュー)

5月20日(水)、神戸ワイナリーのある農業公園でバーベキュー大会が行われました。バスで30分、小高い丘の上にある公園へ。涼しい山の風が吹き抜けるテントの下、おいしいお肉の焼ける匂いに囲まれて、皆お腹一杯になるまで食べました。満足、満足。楽しい一日となりました。





グループホームについて

地域医療連携室 中山 三佳

当法人では、障害福祉サービスによるグループホーム(共同生活援助)を運営しています。精神障害のある方々が共同(3~4名)で生活をされています。現在、市内に一戸建てや県営住宅を利用して、計4戸(定数13名)グループホームがあります。

精神障害者が地域生活を送る上で、相談や日常生活の援助などを必要とする方を対象としています。“一人暮らしに不安があるが地域で生活してみたい”“生活に必要なことを練習したい”等の目的で利用されています。

ご本人の望まれる生活(一人暮らし、ご家族との生活など)に向けて、グループホームでの訓練を通してその生活により近づけるよう支援していければと考えています。

一人でできないことも他の人と協力しながら生活できること、またお互いに支えあえる関係性となれる部分がグループホームの良い所でないかと思っています。



左：外観 中：共有スペース・キッチン 右：地域の清掃活動参加中

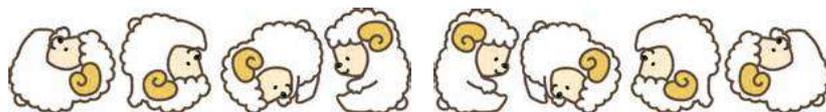
医局コラム vol.16



「不眠と情動興奮について」 医師 藤井 裕子

皆さんは夜間しっかり眠れていますか？疫学調査によると、日本人のおよそ5人に1人は不眠の訴えを持ち、20人に1人が睡眠薬を使用しているそうです。また当院の患者さんがそうであるように、精神疾患を持たれている方の睡眠薬の使用は大変多いです。

不眠に関連するものの一つに情動興奮というものがあります。これは一過性の不眠に適切に対処できず慢性化することで、眠りに対するこだわりや関心が強くなり、不眠を恐れるあまり脳が興奮・活性化することを指します。この興奮によって余計に眠れなくなることもあります。夜間の不眠によって日中に眠気に襲われたり、疲れが取れずにいる状態が辛いのは勿論ですが、不眠の改善には「人間、いつかは寝れるでしょ。」くらいの気楽さを持つこともポイントなのかもしれません。





取 り 組 み



☆家族教室☆

地域医療連携室 柿本 多恵



当院では、月1回、第一土曜日に、家族教室をしています。
 当院入院中、外来患者様のご家族、もちろん他の病院の方でも大歓迎です。
 ご家族様同士で話し合える機会はなかなかないと思います。ご本人へどう接したら良いか、これまで大変だったことなど、お気持ちを話すことで、心が楽になることもあると思います。また、他の家族様からのアドバイスや意見を聞くことができるので、違った見方ができたり、参考になることもあると思います。また、精神科の知識や病院の福祉サービス等の講義もしております。医療スタッフも同席しておりますので、わからないことや普段聞きにくいことなどあれば、ぜひこの機会を利用してみてください。11月14日には、当院にてふれあい催し会実施予定です、興味ある方はぜひご参加ください。



外来診察のご案内

* 外来変更のお知らせ *

平成27年4月1日より外来診察医師の変更がありますので、下記にてご確認ください。
 *受付時間は月曜日から土曜日の8時30分～11時30分です。

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	森院長	木村	森院長	森院長	高内	森院長
	前田	菊川	高内	伊敷	木村	菊川
	谷川	津田	谷川	前田	大西	大西
午後			南	津田		
				堀野 〈思春期外来〉		

広報誌 (PDF) はホームページからも閲覧・印刷可能です。



編集後記

今回も、院外広報読んでいただきありがとうございます。
 随分と過ごしやすい季節になってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
 寒暖の差が激しい時期ですので、お身体には十分ご自愛ください。 広報担当 三樹、西川、柿本

医療法人達磨会 東加古川病院

〒675-0101 加古川市平岡町新在家 1197 - 3

TEL : 079 - 424 - 2983 (代表)

FAX : 079 - 424 - 2985

HP : <http://www.tatsumakai.jp/>

当院では2004年にISO9001
 を取得しています



- ①公共交通機関でのご来院
 JR東加古川駅下車 北口より徒歩10分
- ②お車でのご来院
 加古川バイパス 加古川東ランプ下車(山側すぐ)